

◆ IT関連会社経営/株ジェイテック

今回当欄に徳道茂さんを紹介するため、昨年末から会社に幾度か訪問致しました。本社移転でご多忙な中、貴重な時間を割いていただき、興味深い多くのお話を伺うことができました。

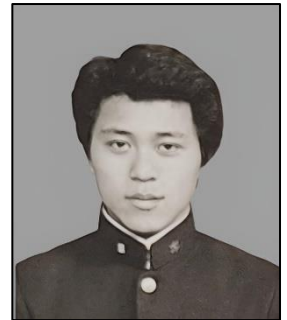
昭和55年(1980)3月に高田商業高校を卒業。今日のIT関連の仕事を生業とする、会社起業に繋がるヒントを探るべく、在学中の事を中心にお聞きしました。

昭和52(1977)年入学。前年の夏に野球部が甲子園大会に出場し、県勢として久し振りに1勝をあげています。当時は野球部以外の部活動も盛んで、入学後は運動部に入部。室内部活の練習場所は大体育館のみで、他の部員と練習コート使用の順番を調整しながら汗したとのこと。3年時(s54)に小体育館、格技場が相次いで完成して、練習場所の確保が楽になったとのことでした。

学習面では商業専門科目に「電子計算機一般」というコンピュータを学べる科目があり、特に印象に残っているとのこと。

高田商業高校は県下でも早くから情報処理分野の教育に先駆的に取り組み、昭和50年1月に超小型電子計算機(FACOM MATE II/富士通株)を導入・設置しています。また、同年6月に文部省より高等学校教育課程研究指定校(電子計算機学習)に選定されています。

授業では、プログラミング(FORTRAN)の授業担当が後藤先生、電算機を使った機械実習は串橋先生に指導頂き、中学時代には想像もできなかった異次元のコンピュータの世界を実感できたとのことでした。



FACOM MATE II

<入力紙テープ>

プログラムやデータ入力は、紙テープ穿孔機を使ってテープ上に穴を開け、電算機(FACOM MATE II)がその穴を光学的に読み取って計算等の処理を行っていた。穿孔機の数に限られていた為、各自のプログラムの結果が出るまで時間を要した。

その後、マークカードリーダーが導入され、各自がマークカードに鉛筆でプログラムやデータをマーク(決められた箇所を黒く塗りつぶす)することで、実習を行うことができるようになり、格段に機械実習の効率が向上した。(編集部)

実習用紙テープ
(8穴:8ビット)

昭和57(1982)年、東京の独立系ソフトウェア会社(株ソフトウェア・システム・サービス/現SRA)に入社。

IBMやユニバックの大型汎用機を使ったソフトウェア開発に携わり、当時の主力プログラム言語“COBOL”習得の機会に恵まれました。

約4年間の在職期間中、練馬区の労働省電算センター(現厚生労働省上石神井庁舎の電算棟)に出向し、大規模なコンピュータ施設を使って下記事項に関する労働統計や各種行政データの収集・分析・資料作成処理等の業務に従事しました。



現(株)SRA/豊島区南池袋

<主な処理業務>

- ・国の職業安定行政(いわゆるハローワーク)
- ・雇用保険・失業給付
- ・労働統計や各種行政データ

1980年代はまだネットワークが未発達で、

- ・各地のデータを集約して処理する「集中(バッチ)型」
- ・パンチカードや専用回線による入力

が主流だったため、こうした「電算センター」は非常に重要なインフラでした。



現 上石神井庁舎電算棟/練馬区

東京での4年間は、当時最先端の大型電子計算機に接する機会を得、大量の情報(データ)を収集・処理・分析をして、業務の効率化を飛躍的に実現する様子を文字通り直接体験することができました。

昭和61(1986)年郷里に戻り、地元企業にて東京で得たコンピュータに関する知識・技能を生かせる業務を担当しました。当時、企業活動の現場ではOA化という言葉が流行語的に交わされていました。

1970年代からワープロ専用機やコピー機、ファクシミリなどの事務機器が導入され、80年代に入って更にそれらの機器をコンピュータと連動する形で事務処理業務の効率化(OA:オフィス・オートメーション)を図り、事務作業全体を機械化・自動化するという発想が広まりました。富士通やNECなどがOA機器・システムを積極的に展開し、「OA化推進」という表現が一般化しました。

平成8(1996)年4月、建設系ソリューション販売や開発を行う、有限会社ジェイテック(JTEC)を設立しました。建設関係の設計・施工・管理等の業務をIT(Information Technology)化するためのシステムソフト製品を、開発企業と地元建設関係企業との間の橋渡し(紹介・販売)からスタートし、後に自社での開発も手掛け建設業界のデジタル化、業務効率化に貢献しました。

6年後の平成14(2002)年に株式会社に組織変更し、オリジナルCMS(Contents Management System)を開発して産学官などの多くのWebサイト制作を手がけ、時代のニーズに応える形で業務を拡大しました。

また、異色の分野では、平成23(2011)年から上越市教育委員会の教育委員として8年間教育行政にも携わりました。

更にIT関連では、令和元(2019)年からNPO法人上越地域活性化機構(ORAJA/オラジャ)の理事長を勤めています。ORAJAは、上越地域において情報利用技術(IT)を基盤技術として提供することで、産業及び地域の活動を活性化することを目的としています。(ORAJA URL : <https://www.oraja.jp/>)

その他ご縁があって下記の略歴にあるような役職に就任しています。



◆略 歴 (上越市帰郷後)

平成8(1996)年	有限会社ジェイテック 代表取締役
14(2002)年	株式会社ジェイテック 代表取締役 (組織変更)
23(2011)年	上越市教育委員会 教育委員 (~令和元(2019)年)
24(2012)年	特定非営利活動法人上越地域活性化機構 理事
26(2014)年	学校法人関根学園 評議員
28(2016)年	上越市教育委員会 教育委員長 (~平成30(2018)年)
31(2019)年	学校法人関根学園 理事
令和1(2019)年	特定非営利活動法人上越地域活性化機構 理事長
〃	上越商工会議所 監事
5(2023)年	公益社団法人上越観光コンベンション協会 理事

今日までの道のりを振り返ると、高田商業高校で学んだ情報処理教育を契機に、1970年代後半から急速に進展したコンピュータを中心とした情報化の波が、自身の社会人としての歩みにピッタリと同期して、先進的なIT技術に接し学ぶ機会に恵まれました。

1990年代後半にインターネットが急速に普及し、パソコン Windows95 の発売と相まってネットワーク環境が個人レベルにも普及しました。また、2000年に発足した森内閣がIT化推進を主要な政策に掲げ、超高速インターネットの整備やIT基本法の制定など日本のIT化整備を強力に提唱したことが特に印象に残っていることです。

近年では、データとデジタル技術によって商品やビジネス、業務、企業文化等の変革を成し遂げるものとして、DX(Digital Transformation)が提唱され、更にAI技術が急速に進化してその恩恵を身近に感じる事ができるようになっています。

現在でも高田商業高校で学んだ簿記・電算一般等の専門科目がベースとのこと。そして卒業後第一線の実業界で学んだIT等の先進技術を、故郷経済界のデジタル化に貢献すべく努めてこられ、更に常に時代のニーズに沿うべく、これからも日々勉強の必要性を強調しておられました。今後も地域経済活性化に尽力下さることを期待したいと思います。

<情報関連用語の変遷>

- ・1980年代まで：主流は「OA(オフィス・オートメーション)化」
- ・1990年代前半：パソコンやネットワークが企業に普及し始めるが、「情報化」や「コンピュータ化」という表現が多い
- ・1990年代後半：インターネットの急速な普及と共に、「IT:Information Technology)」という言葉が世界的に広まる
- ・2000年前後：日本でも「IT革命」という言葉とセットで、「IT化」が一般用語として定着(インターネットとセットで、「ICT化」に変化)
- ・2010年代以降：「DX(デジタルトランスフォーメーション)」という概念へ発展
- ・2025年：AIエージェント元年

<編集部>

【会社概要／株式会社ジェイテック】

- ❖ 所在地：上越市大字富岡 539-7／上越ウイングマーケット内
- ❖ 電話：025-526-0731
- ❖ FAX：025-521-2856
- ❖ URL：<https://www.jtecnet.co.jp/>



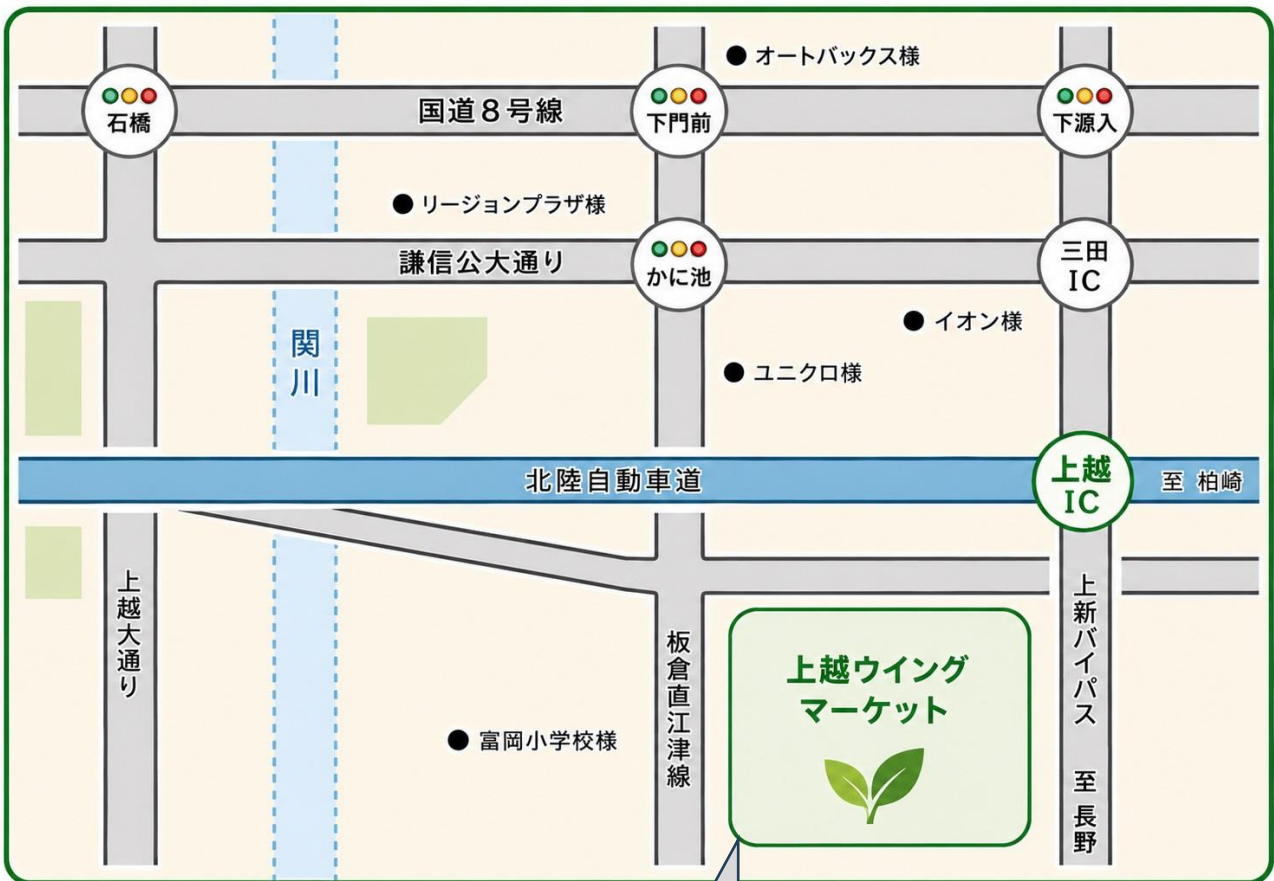
◆事業内容

- ・WEBサイト制作・CMS構築・プロモーション全般
- ・WEBサイトの運営支援・運営代行
- ・建設ソリューションの販売とサポート
- ・デジタルサイネージに関する事業
- ・コンピュータハードウェア・周辺機器販売とサポート
- ・レンタルスペース運営管理
- ・ボルダリング施設運営

◆会社沿革

- | | |
|------------|---|
| 平成8(1996)年 | 有限会社ジェイテック設立(上越市中通町)
土木積算システム「ATLUS」販売開始
施工管理システム「デキスパート」販売開始 |
| 14(2002)年 | 株式会社ジェイテックへ組織変更
顧客管理システム「建客万来」リリース
営業本部を移転(上越市中田原) |
| 15(2003)年 | 文書管理システム「文楽3」リリース |
| 17(2005)年 | WEBサイト制作事業開始
工事原価管理システム「nEXT」リリース |
| 19(2007)年 | 経営戦略システム「SMAC 工事管理」販売開始 |
| 20(2008)年 | 資本金を3,000万円に増資
オペレーションカメラ事業開始(OPECA) |

- 23 (2011) 年 OPECA(オペカ)リリース
住宅用 企画・プレゼンシステム「ALTA」販売開始
- 26 (2014) 年 デジタルサイネージ事業開始
- 28 (2016) 年 建築設備専用 CAD「Rebro」販売開始
- 29 (2017) 年 オリジナル CMS「ブート CMS」リリース
- 令和 5 (2023) 年 上越妙高駅東口レンタルスペース「NEST-ONE」運営開始
- 6 (2024) 年 ボルダリング施設 クライミングジム「ジェイプラス」オープン
- 8 (2026) 年 本社移転 (上越市大字富岡)
コワーキングスペース「ジェイプラス」を本社に併設(4月オープン)



【ライフスタイルソリューション事業】

◆ボルダリング施設運営

- ◎クライミングジム ジェイプラス／Climbing gym J+
- ・所在地：上越市大字富岡 539-7 (株ジェイテック本社隣)
 - ・電話：025-520-5225
 - ・URL：<https://www.jplus-climbing.jp/>



↑ 未来のエース!! /動画

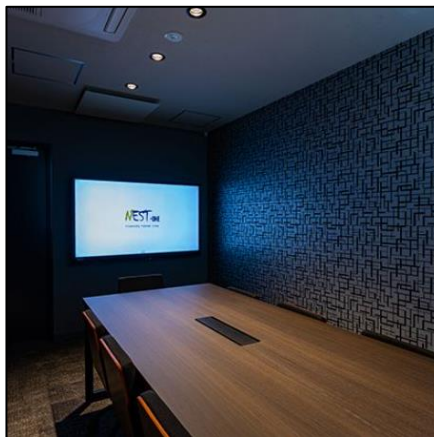
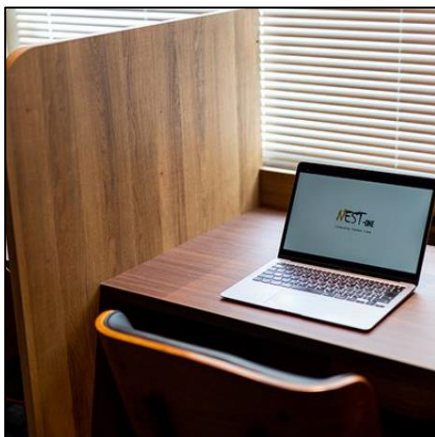


◆コワーキングスペース運営管理事業

◎NEST-ONE (レンタルスペース NEST-ONE)

- ・所在地：上越市大和 2-3-54 NEST ビル 2F
(北陸新幹線上越妙高駅東口 徒歩1分)
- ・URL：<https://www.nest-one.jp>

NEST-ONE
DIVERSITY RENTAL SPACE



◆コワーキングスペース事業

◎コワーキングスペース ジェイプラス

- ・所在地：上越市大字富岡 539-7 / 上越ウイングマーケット内
(株)ジェイテック本社に併設)
 - ・営業：9:00～17:00 / 平日
 - ・施設：フリードリンク、Free-WiFi、充電用コンセント
 - ・URL：<https://www.jtecnet.co.jp/coworking/>
- ※ 営業時間中は、隣接のクライミングジム施設 ジェイプラスを利用可

